



# MIC情報通信

2003年1号

## 発行

ムーディー インターナショナル サーティフィケーション株式会社  
大阪事務所

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14  
住友生命新大阪北ビル13階  
TEL 06-6150-0571 FAX 06-6150-0575  
<http://www.moodygroup.co.jp>

## ご あ い さ つ

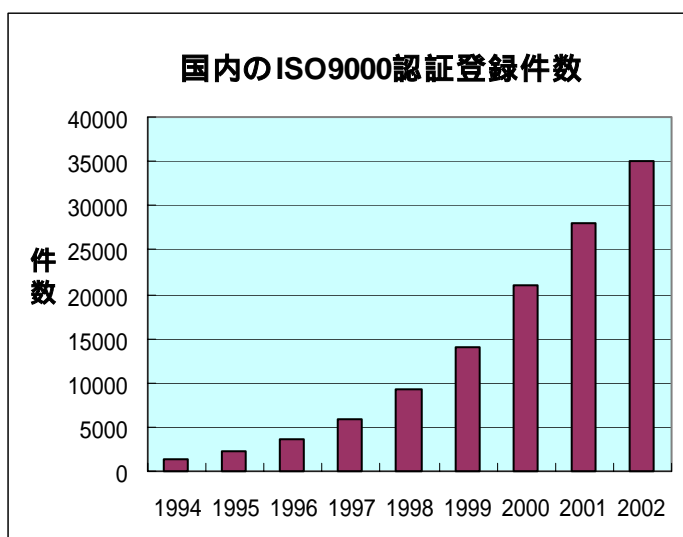
政治経済情勢も日に日に厳しくなっている昨今ですが、貴社におかれましてはいかがでしょうか。かような状況下においてこそ、本来のISO9001 / ISO14001活動の効果が発揮されてくるものと信じております。

ムーディー インターナショナル サーティフィケーション(MIC)と致しましては、昨年、大阪事務所の開設に続き、念願の審査契約数1000社を突破することができ、これもひとえにお客様、コンサルタントの皆様方のご協力の賜物と感謝致しております。

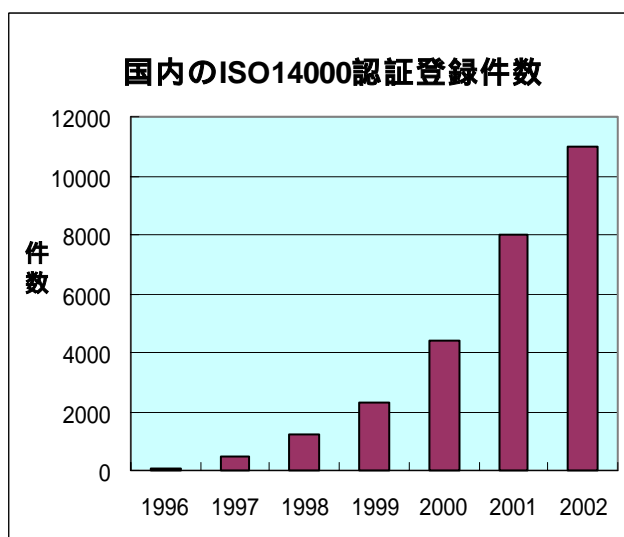
さて、この度、お客様とのコミュニケーションのパイプをさらに太くし、「皆様の役に立つ情報」を発信していくことを目的に、「MIC情報通信」を復刊することになりました。当面季刊発行となりますが、皆様方の率直なご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

## ISO9001 / ISO14001 認証の現状 (日本国内)

ISO9000国内認証登録件数



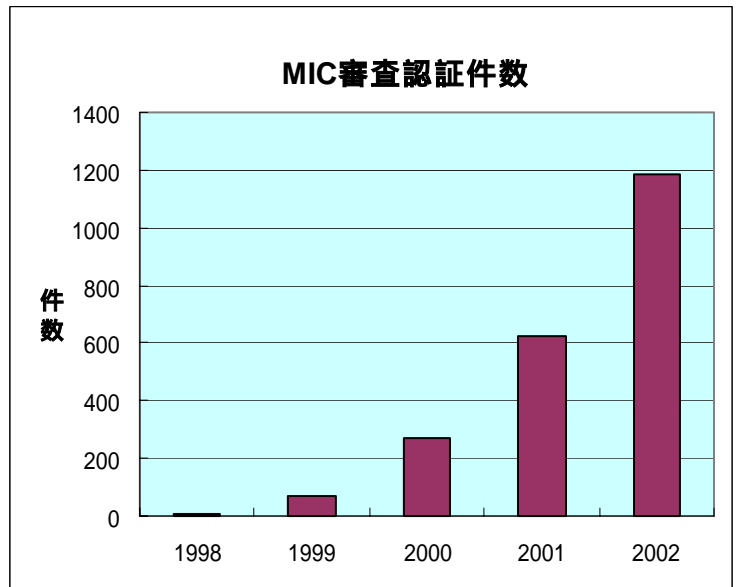
ISO14000国内認証登録件数



## MIC 認証の現状

### MIC審査認証件数

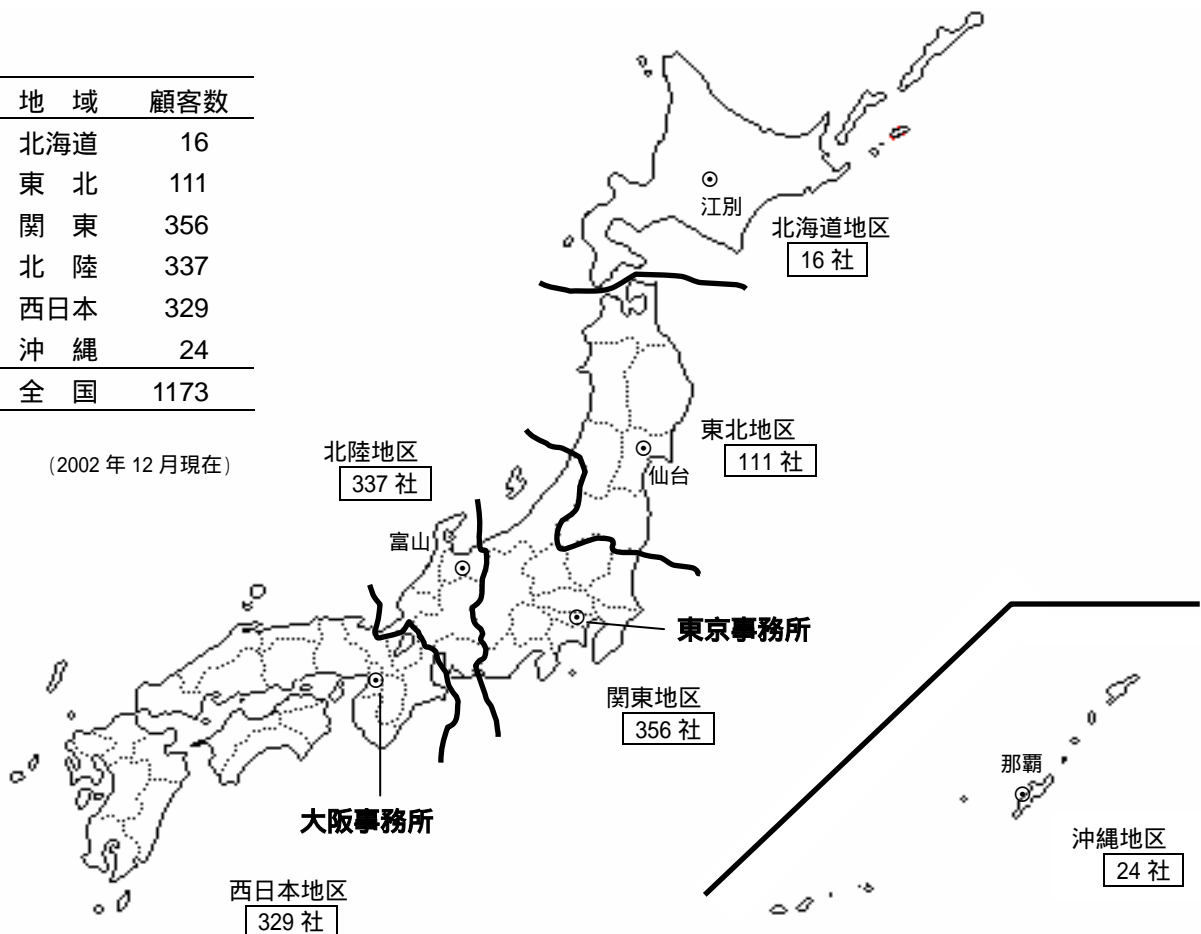
MICは、昨年のISO9000審査登録機関別登録件数における直近3ヶ月の増加率順位で、2003年6月 - 9月で1位、9月 - 12月で3位を達成しました。



### MICの地域別認証済顧客分布

地域	顧客数
北海道	16
東北	111
関東	356
北陸	337
西日本	329
沖縄	24
全国	1173

(2002年12月現在)





## お客様からのお便り



### 当社とISO9001:2000・ISO14001について

株式会社加藤均総合事務所 (ISO9001:2000・14001認証登録)  
取締役統括本部長 加藤 浩輔

当社は、ISO9002品質システムを2000年12月他審査機関より認証取得し、2002年2月に1年目のサーベイランスを受審しました。その間、2001年11月にムーディー・インターナショナル・サーティフィケーション株式会社(以下MIC)により、ISO14001環境マネジメントシステムの審査を受けた際、審査員の方々の作業現場でのヒアリング及びマニュアルに関する質問、ク

ロージングミーティングでの審査報告等、大変理解しやすく、その後の当社のマネジメントシステムの運用がより一層明確になりました。更にダブル受審する事により経費の面にもメリットがありましたので、2002年11月、ISO14001のサーベイランスとISO9001:2000年版の審査機関変更審査も併せてMICにお願いし、大変満足致しております。更に現在、関連会社2社の

指導中です。

この度、機関誌を発行されるとお聞きし今後、貴社より発信される情報を楽しみにさせて頂くとともに、法的及びその他の要求事項の変更に関する情報提供や、マネジメントシステムの継続的改善と維持を計る為のQ&A設置等をご検討頂ければと思っております。

### ISO14001研修を終えて

株式会社コートク (ISO14001認証登録)  
営業部長 荒神 龍彦

平成14年11月、MICでISO14001審査員コースを受講させて頂いていただきました。

受講するにあたり、私の頭の中は講義内容について行けるのだろうか？と、不安でいっぱいでした。そんな不安も受講が始まるや否や全くといってありませんでした。着ていたジャケットを脱ぎ捨て、ネクタイを緩め、実践的な内容を交えながらの講師のお話は大変楽しい(厳しい)ものでありました。私が求めていたものです。

私たち受講生の共通するテーマは、環境という概念を何を持って

具体化するか？そして、評価するか？であったと思う。しかし、講義が進んで行くうち、審査員が審査員としてあるのは、審査のうまい進め方、テクニックではなく審査員としての個人の資質、環境の中に存在する“生き方”が大切ではないのか？と、思えるように感じました。

今まで私は、審査員としての力量で今、実践している会社内のシステムを円滑に行えればいい、審査員になるチャンスがあればそれでいい、と考えていました。

今、私は審査員になることが重要であると考えなくなりました。現

在の組織の中で、受講で得たものをメンバーに伝えたい、と考えています。

社内の「環境方針」が言えないメンバーであろうと、人前でゴミが拾えるメンバーを作りたいと考えます。

私にとって、貴重な受講であったと満足しております。研修プログラムにつきましても、満足しておりますが、欲を言えばフリーターキングの時間がもう少しほしかったかな？という思いです。

ありがとうございました。



## 認証取得組織のご紹介

## ISO14001

さる3月28日、MICでISO14001認定を行った岡山市水道局にて、認定証交付式が行われました(写真左はそのときのものです)。

岡山市水道局では、平成14年5月から環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得に取り組み、先月認定を受けられました。

取得に取り組みられた理由を次のように述べられています。

「昨今の地球温暖化、オゾン層減少、自然環境破壊などの地球環境の悪化は、少雨化、渇水の頻発あるいは水質汚濁などを誘発しているといわれ、安全な水道水を安定して供給するという水道事業の使命を脅かしかねない状況となりつつあります。

一方、水道事業は水道水の“原料”となる水や電力などを大量に消費する環境に負荷を与える事業の一つでもあります。



平成15年3月28日の認定証交付式にて認定証を手渡される荻原市長(中)と遠藤水道事業管理者(右)

そこで、良質の水道水を将来にわたって安定的に供給するためには、水道局としても環境負荷の低減に向けた取り組みが必要不可欠と考え、ISO14001の認証を取得したものです。」

## 新設研修コースのご紹介

MICはISO9001/ISO14001の研修コースとして、2002年11月から厚生労働省の教育訓練給対象の2コースを新設致しました。

### IRCA認定のISO9001審査員研修コース IEMA認定のISO14001審査員研修コース

研修期間はいずれも6日間です。

特徴としては、給付金として受講料の約80%が戻ること、基礎から実践まで審査員になるための知識

や技量が学べること、また、審査員の視点から内部監査が行えること等です。

東京・大阪の2会場で実施致しておりますので、皆様のご都合に合わせてお申込み下さい。詳細は、別刷りのコーススケジュールをご参照下さい。

尚、現在給付制度の改正案が国会に提出されています。改正案内容: 給付率8割 4割へ(厚生労働省HPより)。

⇒ 8割支給のラストチャンス迫る! ⇐

### ムーディー インターナショナル サーティフィケーション株式会社

<http://www.moodygroup.co.jp>

**東京事務所** 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-2 日本橋Nビル 4F  
Tel: (03) 3669-7408 Fax: (03) 3669-7410  
E-mail: mi-certification@moodygroup.co.jp

**大阪事務所** 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14  
住友生命新大阪北ビル13階  
Tel: (06) 6150-0571 Fax: (06) 6150-0575  
E-mail: mic-osaka@moodygroup.co.jp